



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月11日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9012 URL <http://www.chichibu-railway.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 隆男  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 森田 宏昭 TEL 048-523-3311  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,851	2.3	136	25.7	129	31.7	114	25.9
27年3月期第2四半期	2,787	△2.4	108	△33.4	98	△32.7	90	△31.6

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 108百万円 (31.6%) 27年3月期第2四半期 158百万円 (△62.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	7.70	—
27年3月期第2四半期	6.12	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	23,186	10,122	43.6	680.02
27年3月期	23,575	10,014	42.4	672.75

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 10,111百万円 27年3月期 10,003百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	1.5	180	△2.7	180	8.4	160	△1.2	10.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4頁「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	15,000,000株	27年3月期	15,000,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	130,381株	27年3月期	130,881株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	14,869,362株	27年3月期2Q	14,871,171株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
5. 補足情報	10
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、鉄道事業を中心に輸送の安全確保を最優先に取り組み、営業活動ではイベントの実施や沿線市町・同業他社等と連携した積極的な誘客活動を実施し、収益の確保に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益は2,851百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益は136百万円(同25.7%増)、経常利益は129百万円(同31.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は114百万円(同25.9%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益または損失の測定方法を変更しており、以下の前年同四半期との比較については、前年同四半期の数値を変更後の測定方法に基づき作成した数値で比較をしております。報告セグメントの測定方法の変更の詳細につきましては10頁「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

#### [鉄道事業]

旅客部門におきましては、沿線地域の人口減少及び少子高齢化の影響を受け、前年同期に比べ定期旅客収入は減少いたしました。

一方、「わくわく鉄道フェスタ」の開催や関係団体と協力したハイキングの実施、長瀬ラインくんだり創業100周年を記念した様々な企画や、異業種と連携して話題性を持たせた企画を実施するなど積極的な旅客誘致に努めたほか、観光シーズン中の天候にも恵まれ、更には沿線地域がマスメディアに多く取り上げられたこともあり、前年同期に比べ定期外旅客収入は増加いたしました。

貨物部門におきましては、輸送量が減少したことに伴い前年同期に比べ貨物収入は減少いたしました。

営業費用は、電力料金が値下がりし、加えて経費削減に努めた結果、前年同期に比べ減少いたしました。

以上の結果、営業収益1,753百万円(前年同期比3.9%減)、営業損失は17百万円となりました。

#### [不動産事業]

不動産事業におきましては、深谷市緑台の分譲地販売が順調に推移したほか、仲介収入も前年同期に比べ増加いたしました。その結果、営業収益は242百万円(前年同期比38.1%増)、営業利益は81百万円(同8.8%増)となりました。

#### [観光事業]

観光事業におきましては、長瀬ラインくだりの利便性向上を図るため、ファストライド制度を導入したほか、創業100周年を記念した「感謝フェア」としてオリジナルグッズのプレゼントや長瀬ラインくんだり創業100周年記念号の運行など様々な取り組みを実施いたしました。

また、旅行者への営業活動や取材への協力を積極的に行い、多様のメディアに取り上げられた効果などから各施設を利用されるお客様が増加いたしました。

その結果、営業収益は214百万円(前年同期比13.6%増)営業利益は35百万円(同12.5%増)となりました。

#### [バス事業]

バス事業におきましては、貸切バスの新運賃・料金制度が定着し、順調に推移したことから営業収益は224百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益は37百万円(同377.5%増)となりました。

#### [その他事業]

その他事業におきましては、営業収益は619百万円(前年同期比2.8%増)、営業損失は8百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ388百万円減少し23,186百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ、237百万円減少し1,589百万円、固定資産は151百万円減少し21,597百万円となりました。流動資産減少の主な要因は分譲土地建物の減少に加え、受取手形及び売掛金、その他に含まれる鉄道事業に係る補助金の未収金がそれぞれ減少したことによるものであります。固定資産減少の主な要因は減価償却により有形固定資産が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ497百万円減少し13,063百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ355百万円減少し3,452百万円、固定負債は141百万円減少し9,611百万円となりました。流動負債減少の主な要因はその他に含まれる設備未払金が減少したことによるものであります。固定負債減少の主な要因は長期借入金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ108百万円増加し10,122百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間までにおける貨物収入の減少等により、営業収益は100百万円の減収となる見込みです。

一方、営業費につきましては、電力料金の値下がりや人件費、その他経費の削減等を行い、営業利益、経常利益、当期純利益はそれぞれ30百万円の増益となる見込みです。

## 平成28年3月期通期連結業績予想値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 5,700	百万円 150	百万円 150	百万円 130	円 銭 8.74
今回修正予想（B）	5,600	180	180	160	10.76
増減額（B-A）	△100	30	30	30	—
増減額（%）	△1.8	20.0	20.0	23.1	—
（ご参考）前期実績 （平成27年3月期）	5,519	185	166	162	10.96

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	891,338	991,880
受取手形及び売掛金	332,418	219,145
分譲土地建物	204,606	144,377
商品及び製品	29,614	31,925
原材料及び貯蔵品	91,342	83,356
その他	278,667	119,607
貸倒引当金	△1,272	△1,257
流動資産合計	1,826,715	1,589,036
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,656,497	13,656,076
減価償却累計額	△9,200,662	△9,286,297
建物及び構築物（純額）	4,455,834	4,369,778
機械装置及び運搬具	4,903,108	4,851,616
減価償却累計額	△4,277,917	△4,254,369
機械装置及び運搬具（純額）	625,190	597,247
土地	15,589,814	15,589,814
その他	635,577	638,406
減価償却累計額	△573,459	△583,421
その他（純額）	62,118	54,985
有形固定資産合計	20,732,957	20,611,825
無形固定資産	102,417	91,449
投資その他の資産		
投資有価証券	871,344	852,675
繰延税金資産	2,994	2,814
その他	60,569	60,452
貸倒引当金	△21,372	△21,490
投資その他の資産合計	913,536	894,450
固定資産合計	21,748,912	21,597,725
資産合計	23,575,627	23,186,761

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	241,728	194,830
短期借入金	1,133,498	1,133,498
1年内返済予定の長期借入金	1,237,534	1,228,430
未払法人税等	15,900	24,216
未払消費税等	135,849	67,882
繰延税金負債	175	232
賞与引当金	194,812	199,808
その他	848,529	603,472
流動負債合計	3,808,030	3,452,370
固定負債		
長期借入金	2,716,160	2,562,411
繰延税金負債	245,684	239,434
再評価に係る繰延税金負債	4,800,408	4,800,408
退職給付に係る負債	1,817,393	1,822,089
特別修繕引当金	62,400	72,800
長期預り金	111,078	114,294
固定負債合計	9,753,126	9,611,437
負債合計	13,561,156	13,063,808
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	21,921	21,915
利益剰余金	△987,873	△873,364
自己株式	△28,265	△28,157
株主資本合計	△244,217	△129,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	525,780	513,364
土地再評価差額金	9,759,028	9,759,028
退職給付に係る調整累計額	△37,372	△31,151
その他の包括利益累計額合計	10,247,435	10,241,241
非支配株主持分	11,252	11,318
純資産合計	10,014,471	10,122,952
負債純資産合計	23,575,627	23,186,761



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業収益	2,787,631	2,851,396
営業費		
運輸等営業費及び売上原価	1,986,756	2,020,925
販売費及び一般管理費	692,124	693,785
営業費合計	2,678,880	2,714,711
営業利益	108,750	136,684
営業外収益		
受取利息	219	97
受取配当金	7,078	7,059
物品売却益	956	—
土地物件貸付料	742	11,052
助成金収入	760	150
その他	17,310	6,803
営業外収益合計	27,067	25,163
営業外費用		
支払利息	34,798	29,322
その他	2,396	2,627
営業外費用合計	37,194	31,950
経常利益	98,622	129,897
特別利益		
固定資産売却益	6,347	5,079
工事負担金等受入額	—	78,043
補助金	—	100
その他	—	418
特別利益合計	6,347	83,641
特別損失		
固定資産圧縮損	—	78,376
固定資産除却及び撤去費	21	—
特別損失合計	21	78,376
税金等調整前四半期純利益	104,948	135,163
法人税、住民税及び事業税	13,808	20,347
法人税等調整額	176	237
法人税等合計	13,985	20,584
四半期純利益	90,963	114,578
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	69
親会社株主に帰属する四半期純利益	90,959	114,509

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	90,963	114,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,466	△12,419
退職給付に係る調整額	8,071	6,221
その他の包括利益合計	67,538	△6,198
四半期包括利益	158,501	108,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,479	108,314
非支配株主に係る四半期包括利益	22	65

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	1,818,944	172,032	188,546	205,660	2,385,184	402,446	2,787,631	—	2,787,631
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	5,686	3,312	83	735	9,817	199,741	209,559	△209,559	—
計	1,824,630	175,344	188,630	206,395	2,395,002	602,188	2,997,190	△209,559	2,787,631
セグメント 利益又は損 失(△)	10,751	74,592	31,145	7,754	124,243	△23,933	100,310	8,440	108,750

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額8,440千円には、固定資産未実現損益の消去額597千円、セグメント間取引消去7,842千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	1,746,159	238,907	213,955	224,414	2,423,436	427,960	2,851,396	—	2,851,396
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	6,899	3,312	405	347	10,964	191,342	202,307	△202,307	—
計	1,753,059	242,219	214,360	224,762	2,434,401	619,302	3,053,704	△202,307	2,851,396
セグメン ト利益又は損 失(△)	△17,544	81,150	35,040	37,024	135,671	△8,040	127,631	9,053	136,684

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額9,053千円には、固定資産未実現損益の消去額682千円、セグメント間取引消去8,370千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの経営成績をより適切に反映させるため業績管理方法を見直したことに伴い、当社における出向者人件費に係る費用の配賦方法を各セグメントの事業実態に合った合理的な配賦基準に基づき配賦する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の利益又は損失の測定方法により作成しております。

5. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減率 (%)
旅客人員	定期	千人	2,766	2,845	△2.8
	定期外	〃	1,522	1,511	0.7
	計	〃	4,288	4,356	△1.6
貨物トン数		千トン	977	1,116	△12.4
旅客収入	定期	百万円	390	400	△2.5
	定期外	〃	639	627	1.8
	計	〃	1,030	1,028	0.2
貨物収入		〃	583	664	△12.3